

平成19年(昭和82年)9月11日(火)

東海の古代

第86号 編集・発行 古田史学の会・東海

代表 林 俊彦 〒461-0025 名古屋市東区徳川1-729

ホームページ: (「古田史学」で検索しても見つかります)

<http://geocities.jp/furutashigaku-tokai>

メール: frrttokai@zm.commufa.jp

電話/FAX(カラー可) 052(936)5012

郵便振替 00870-5-30752

和田家文書の寛政原本が出現したことを受け、古田先生の研究はいよいよ意気盛んです。

古田武彦講演会①

テーマ: 歴史の時空の中で

——相次ぐ南米と寛政原本の発見——

日時: 9月23日(日)午後1時～4時半

場所: 全国教育会館エデュカス東京

東京都千代田区二番町12-1

(日本テレビ近く、地学会館隣)

電話03(5210)3511

※JR 四谷駅下車徒歩7分

※JR 市ヶ谷駅下車徒歩7分

※地下鉄都営新宿線市ヶ谷駅下車徒歩7分

※地下鉄丸の内線・南北線市ヶ谷駅下車徒歩7分

資料代: 二千円

主催(共催):

古田武彦と古代史を研究する会(東京古田会)

新東方史学会

連絡先: 平田博義(東京古田会事務局長)

電話/FAX 045-701-1424

古田武彦講演会②

テーマ: 人類と日本古代史の運命

——歪んだ教科書——

日程: 10月21日(日)午後6時半～9時

場所: すてっぷホール

阪急豊中駅隣接「エトレ豊中」5階

大阪府豊中市玉井町1-1-501

電話(06)6844-9774

参加費: 1000円

(会場は150名収容、事前申し込み必要)

連絡先: 大下隆司(「古田史学の会」事務局次長)

電話06-6849-0926

岐阜・西濃周遊の旅

今年は記録的な猛暑の夏でした。ものともせず向学心に燃える私たち4名は以下のように岐阜の街中を、西濃の山野を巡ってきました。

①岐阜市内で:

■金神社(岐阜市金町5-3)

名鉄新岐阜駅から最初に向かったのは、織田信長ゆかりの円徳寺。その隣にあるのが淳熨斗媛命(ヌシノミコト)を祭神とする金(カネ)神社。

本殿裏側にある小祠群(賀方良城神社、金高橋神社、猿田彦神社、神明神社、物部神社、玉姫神社)の方が面白いです。また、おもかる石も試しました。願い事がかないそうなメンバーはいませんでした。

■榎森神社(岐阜市若宮町1-8)

金神社(淳熨斗媛命)と伊奈波神社(五十瓊敷入彦命)の祭神の子神である市隼雄命(イハヤノミコト)を祀ります。

■伊奈波神社(岐阜市伊奈波通1-1)

美濃国三の宮と称されるのが伊奈波(イハ)神社。祭神は五十瓊敷入彦命(イシヅリヒコノミコト)。かつては金華山丸山の地にあったのが齊藤道三によって現在地に移されたそうです。境内は広くたくさんのお祠があちこちに軒を並べています。

■岐阜市歴史博物館(岐阜市大宮町2-18-1)

思ったより展示内容は充実。夏休みとあってかボランティアと思しきガイドさんがたくさんいて熱心に説明してくれました。

■正法寺(カゴ大仏: 岐阜市大仏町8)

朱塗りの大仏殿に鎮座するのは張子のトラ、ならぬ釈迦如来坐像。自称日本三大仏。張りぼてとは思えない迫力でした。

②大垣方面に移って：

■南宮大社(不破郡垂井町宮代 1734-1)

美濃国一ノ宮とされ祭神は金山彦が主神。脇神が見野尊と彦火火出見尊。残念ながら楼門は現在工事中で、雰囲気は損ねています。本当は興味深い施設があったようですが、案内が不十分で、かなり見落としてしまいました。いろいろな神事が保存されており、その時期にまた見学したいものです。本来は南宮山(四一九メートル)に登り山上から濃尾平野一円を一望におさめるべきでしたが、省略。

■大領神社(不破郡垂井町宮代字森下)

壬申の乱で格別の功があったと思われ持統天皇から不破国大領外従五位に叙せられた宮勝木実を祀る神社。美濃とスグリ氏について考えさせられます。

■南宮御旅神社(美濃国府跡：不破郡垂井町府中)

金山姫命が祭神。南宮大社が毎年5月に行なう神事芸能(国民俗)で神輿が出発する所。また美濃国府跡とされる遺跡が隣にあるが、国府跡とするにはあまりに貧弱？白鬚神社もあり。

■伊富岐神社(不破郡垂井町岩手字伊吹)

美濃国二ノ宮とされる神社ですが、いきなりクマ出没注意！の看板が目に入りました。祭神は諸説あります。伊福部氏系の神社と思われませんが、かなり寂れた感があります。

■勝神社(不破郡垂井町表佐)

高良玉垂命を祭神とする、とのことで寄って見たがはっきりしませんでした。境内に古墳があります。大領神社からこの勝神社への周辺は小円墳が散在するそうです。

■美濃国分寺跡(大垣市歴史民俗資料館：大垣市青野町 419)

史跡はよく整備されています。国府跡に比べ実に立派な景観です。資料館は入場料100円。お得です。自販機がまったくなくて渴きに苦しみました。

本当は昼飯大塚古墳、願成寺西墳之越古墳群にも寄る予定だったのですが、見つからず省略しました。

■上磯古墳群・南山古墳(揖斐郡大野町上磯)

大野南小学校周辺に亀山古墳、北山古墳など上磯古墳群があります。南山古墳にだけ寄りました。

■野古墳群(揖斐郡大野町野)

約1km四方に前方後円墳8基、方墳1基が遺存しています。かつては28基以上あったそうです。最大は登越古墳で全長83m、3段築成。最小は方墳8号墳で1辺15.8m。全体として5世紀から6世紀前半に築造されたとされています。

■来振寺(揖斐郡大野町稲富 397-1)

まずは来振神社へ寄りました。けっこう大きな施設。来振寺と同じく8世紀創建とされる。寺のほうは現在、西美濃三十三霊場として著名。

とにかく暑い一日でした。武内さん、運転ご苦労様でした。

10月例会に参加を

日程：10月14日(日)午後1時～4時半

場所：名古屋市北生涯学習センター和室

名古屋市北区黒川本通2-16-3

時間：午後1時～4時半

地下鉄名城線「黒川」下車④出口

市バス「黒川」下車

※黒川交差点北へ約50m(東側)

一応、駐車場有り(16台)

参加費：500円(維持会員は無料)

今後の予定

11月例会：11月11日(日)市公会堂第5

12月例会：12月9日(日)

例会は原則として毎月第2日曜日です。予約の都合のため今回は初めての会場です。よく確認してからお出かけください。

古田先生とその学問に興味のある方ならどなたの参加も歓迎します。また参加に際し事前連絡は不要です。遅刻早退もかまいません。

例会の場での研究報告、見解発表は大歓迎です。資料を配布される場合はなるべく16部用意願います。